

湖東普及だより

令和7年
春号

編集発行

滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：徳田 裕二）

（湖東農業普及指導センター）

〒522-0071 彦根市元町4番1号

TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp

Facebook アドレス：https://www.facebook.com/hukyuudayori.kotou

Facebook ページ2次元コードはこちら→



露地切花の王様「短茎小菊」を作りますか？

小菊の魅力・栽培方法

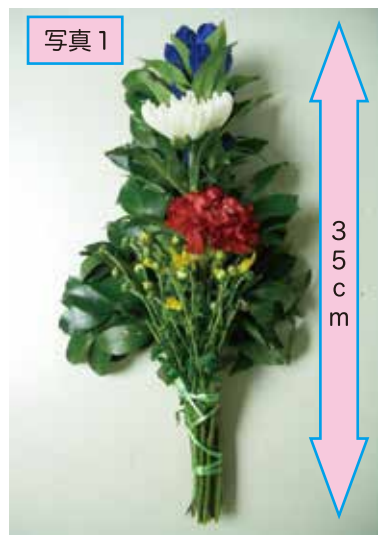
小菊は、湖東全域で栽培され60年以上の歴史があります。生産者の高齢化等により栽培面積は減少していますが、お盆や秋彼岸のお墓や関西仏花(写真1)用の中心的な切り花として大変需要があり、花き卸売市場や農産物直売所からは一層の生産拡大を求められています。

転作田や未整備田、畑、中山間地域でも栽培が可能です。栽培1年目は株や挿し穂を購入する必要がありますが、2年目からは株分けや挿し芽で増やすことができ、種苗費を抑えられます。

小菊(45cm規格)・8月出荷の作型

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
作型				○	▽	×		□	□	□		

○挿し芽 △定植 ×摘心 □収穫



長さ45cmの短茎規格(写真2)の栽培では、露地で2月上旬から4月上旬まで親株をビニルトンネルで被覆し、4月上旬に親株から採



穂・挿し芽、4月下旬から5月上旬に定植します。出荷時期は、7月中下旬から8月上旬になります。

本栽培では慣行栽培(70cm規格)に比べ、施肥量や農薬散布回数が半分程度で済みます。

新規栽培者を募集しています！

定植は1a（畝長70m）当たり挿し穂で1,200～1,400本程度必要ですが、JA東びわこ花き部会に加入することにより、親株の購入や市場出荷に際してメリットがあります。皆様も是非、小菊を栽培しましょう！

栽培にご興味のある方は湖東農産普及課やJA東びわこ本店にお問い合わせください！

『君の声 一つで変わる 心の温度』南中学校2年 木村 和奏さん

（彦根市「はーとふるメッセージ2023」特選作品）

水稻新品種「きらみずき」のおいしさは太鼓判！

「きらみずき」は令和5年に一般栽培を開始した滋賀県育成の新品種です。令和6年産栽培面積は県内193haうち、湖東管内では約26haでした。当課では、関係機関と連携してほ場巡回や栽培研修会の開催、栽培技術情報を発信し、栽培技術支援と作付推進を行っています。

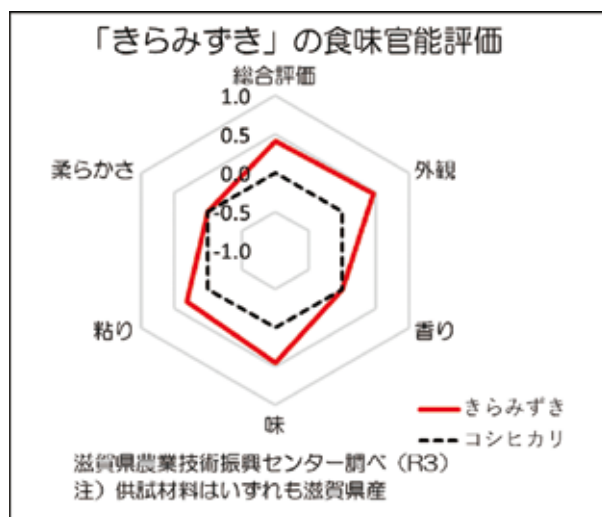
流通面では、学校給食への提供や県内量販店での販売が拡大するとともに、令和6年産米からは首都圏への販路拡大にも力を入れています。

「きらみずき」は大粒でしっかりした食感でみずみずしい甘みが特徴です。実際に食べて「おいしさ」を評価する食味官能試験では、「コシヒカリ」と同等以上と高く評価されています。

「きらみずき」の試食イベントでも毎回大変好評をいただいています。是非おいしさを味わってみてください。



令和6年産の現地栽培研修会の様子



甘くておいしい「多賀にんじん」！

「多賀にんじん」は、学校給食における地産地消を目指して昭和60年頃から栽培が開始されました。その後、品質の均一化や出荷体系の確立に向けて、「多賀にんじんクラブ」が設立され、現在は部会員8名が約2.1haで栽培を行っています。

微生物農薬や緩効性肥料を利用し、化学合成農薬・化学肥料の使用量を慣行栽培の1/2以下に抑え、琵琶湖や周辺環境に配慮した栽培をされており、「環境こだわり農産物」認証を受け、販売されています。

「多賀にんじん」は、低温下で育ち、積雪の多い時期に収穫するため、一般のにんじんに比べ糖度が高い特徴があり、その糖度は最高10度にもなります。是非一度、甘くておいしい「多賀にんじん」を味わってみてください。



多賀にんじん

園芸品目の育苗時の猛暑対策には 簡易ミストが有効です！

夏の暑さ対策として以下の点を組み合わせると効果的です

換気

ハウス内の循環扇・
扇風機などの活用



遮光

従来の遮光ネットより
遮光率が高いネット
(50%)の導入



ミスト散水

気化熱による
簡易ミスト冷房



近年の異常高温により夏期のハウスは遮光を行っても植物の生育限界を超える温度になり、高温障害が発生することがあります。育苗をするため、換気、遮光と併せて、ICTバルブとノズルを組み合わせた簡易ミスト散水を導入し、昇温抑制効果を高めましょう。

イチゴ育苗ハウスでの資材費と導入のポイントについて

<導入のポイント>

- ①循環扇がない施設では扇風機等で代用できます。
- ②簡易ミストを導入する場合は50%程度の遮光資材とします。
- ③従来の細霧冷房より1/3のコストで導入できます。
- ④低コストで設置ができ、また自主施工であるため、ノズル位置は自在に変更できます。

<資材費(概算)>

資材名	金額(単位:円)	備考
ミストノズル(真鍮)	24,000	100m分、300円×80個
ティープッシュ接手	24,000	300円×80個
ドリップ散水チューブ	10,000	1巻き 100円/m×100m
チューブアダプタ	900	1個、ドリップチューブとの接続用
エスター線#10	5,100	500m
DOバルブ(ICTバルブ)	30,000	25mm径
温度センサーセット		
塩ビ管・結束バンド等		ハウス面積等に応じて水源からの配管およびノズル固定用
合計	94,000	

※ハウス内簡易ミスト散布資材 1棟300㎡(間口7.5m×奥行40m×1棟の場合)
※1m間隔にノズルを配置、40mハウスに2列チューブを配置(80m分)した場合
※価格は変動する可能性があります

今後も夏期の異常高温が続くことが想定されます。

暑さ対策に効果的な技術や対策を導入し、猛暑に打ち勝ちましょう！

STOP! 農業濁水

浅水代かきやあぜ塗りで、濁水や肥料の流出を防ぎましょう！

近年、田植期間の長期化に伴い、農業濁水の発生も長期化しています。浅水代かきやあぜ塗りを行うことで、農業濁水だけでなく、肥料成分の流出も防ぐことができます。春の耕起～田植は、以下の点に留意しましょう。田植え前の強制落水は絶対にしないようにしましょう。

《作業のポイント》

- ①入水前に、あぜ塗り機で畦畔をあぜ塗りする。
- ②あぜ塗り後に、あぜ際をトラクタ後輪で踏みしめて漏水を防止する。
- ③水を入れる前に尻水戸を土できっちりふさぐ。
- ④入水後は、排水路に水が漏れていないか確認する。
- ⑤代かきは、浅水(土が見える割合70～80%)で行う。
- ⑥最初の代かき作業は、周囲からていねいに行う。



浅水による代かき作業



代かき前の状態（土面割合70%）

令和6年度滋賀県農林水産表彰受賞

柴田幸弘氏（彦根市田附町）が功労賞を受賞！

柴田氏は、魚のゆりかご水田米等の生産に意欲的に取り組み、環境に配慮した農業の推進に尽力されました。「環境こだわり農産物」の生産には認証制度が始まった当時から取り組み、現在は水稻作付面積の8割で「環境こだわり農産物」の認証を取得されています。

また、農地集積・集約、地域農業の発展に寄与されるとともに、県指導農業士として青年農業者等次世代の育成に尽力されました。

高品質・良食味米の栽培に意欲的に取り組んでおられ、平成20年には「米・食味分析鑑定コンクール」において、最高賞である金賞を受賞されました。

このような功績が認められ、この度の受賞となりました。



この印刷物は、グリーン購入法適合用紙を使用しています。